

会 議 録		令和 5 年 2 月 17 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府北警察署協議会（令和 4 年度第 4 回）		
開催日	令和 5 年 2 月 16 日（木曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 4 時 45 分までの間（105 分）		
場 所	京都府北警察署		
出席者	森藤会長、山田副会長、高井委員、石上副会長、作田委員、松井委員 野中委員、岡本委員、小西委員 （欠席 プレストン委員、森永委員） 計 9 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴・相談係長 計 10 人		
諮 問 事 項	回顧と展望について		
会 議 内 容	1 署長挨拶	司会	副署長
	2 会長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	(1) 諮問事項説明		
	回顧と展望について～各課長		
	【委員】 私は 5 年の間に 3 回財布を落としている。しかし 3 回とも返ってきた。財布を拾ったこともあり、その時は見守り活動中で、警察官がそばにいたことから、スムーズに落とし物の処理をしてもらえた。		
	【委員】 犯罪抑止の活動については、これからも行政と警察が連携してやっていけたらと思う。		
	【委員】 これまでの会議での話で、行政と警察が連携されていることはよく分かった。		
	【委員】 テレビを見ていたら、アポ電がよくかかってくると言っていた。押し掛けての買取りの電話もあると聞く。真面目な店がかわいそうだと思った。ややこしい電話は対応せず、電話を一度切るようにしている。訳の分からないものに飛びつかないようにしなければと思った。		
	【警察】 我々も北署といっても信用されない場合があり、困っている。セー		

会 議  
内 容

ルスの電話がかかってくることもあるが、通話内容録音機能付き電話があり、悪い奴は録音されているとなると切る可能性が高い。機械に頼ることも大切だと思う。

【委員】 本当に詐欺の電話が多い。私は固定電話に、北署と柵野交番の電話番号を登録している。柵野交番から「いたわりテレフォン」がかかってくることもあり、そうしておけば、本当に警察からの電話かどうか分かる。ただ、それ以外の詐欺にかかる恐れがあるので気を付けるつもりだ。

【委員】 テレビで、犯人は声を残したくないと言っていた。今、生安課長の話を聞いてなるほどと思った。

【委員】 落とし物をした時の手続きを簡素化する施策はないのか。

【警察】 特に警察から連絡をつけられない落とし物については、遺失者を特定する際の重要な手掛かりとなる、拾得時間、場所等を拾得者からしっかりと確認する必要がある。忙しければ、時間のある時に届けてもらっても構わない。手間を簡素化する施策というものは今のところ特段ないが、ご協力をお願いしたい。

【委員】 自転車を止める際には「無施錠」「自転車設備のカギを掛ける」「何か固定物に結び付ける」などの方法があると思うが、どの方法が盗まれにくいのか。

【警察】 自転車設備の馬蹄錠をかけていても、3割くらいは盗まれている。設備にもよるが、何か固定物に結び付ける方が盗られにくいと思う。

【委員】 まずは鍵を掛けることが大事であることはよく分かった。詐欺電話の関係で、警察署の電話番号の末尾が「0 1 1 0」であることを周知すればよいのではないか。

【警察】 各家庭の電話機にナンバーディスプレイ機能があるか分からない。機能がなく、かかってきた番号が分からない人もいる。

【委員】 私が落とし物をした時の例でいうと、届け出た方は拾った場所を言ってすぐに立ち去ったらしい。落としした者からすれば、お礼を言う機会がなくなったのは非常に残念である。

【委員】 携帯電話を拾って交番に届けた。「すぐに届いてますよ。」と電話をするのではなく、電話会社に確認していると聞いた。そんな簡単な手続きでは返せないことを知った。

【警察】 今は、ほとんどがスマートフォンにロックをかけている。我々も電話会社に頼るしかない現状がある。

【委員】 昨年5月に原谷の危険な場所に横断歩道を設置してもらい、随分安全になった。他に氷室通ではなかなか車が止まらない状況があるが、金閣寺交番にお願いし、見守りをしてもらっている。金閣寺交番員と

一緒に自転車マナーの悪い学生を注意したり、啓発活動も行っている。

【委員】裸の横断歩道の話があったが、私は必ず止まるようにしているが、対向車が止まらなると、横断者は私に対して「どうぞ」と合図をして、渡らない。このような時はどうすればいいのか。

【警察】個別の状況判断となるが、明確に横断の意思を示していない場合は安全を確認した後、通過することもやむなしと思われる。しかし警察としては、横断者が車に道を譲る現状を改善させ、横断者が安心して横断できる環境を目指している。

【警察】この場合でも、運転手が横断者が「渡らないと思った」というものではなく、横断者が明確に意思表示することが必要である。

【委員】横断歩道のところで、横断者がよそ見をしている場合がある。そうすると渡る気があるのかどうかの判断に困る。

【警察】運転者にポーズで明確に意思表示してもらえれば、車が止まるようにするため、運転手の顔を見て手のひらを運転手に見せ、手を上げて横断するよう啓発活動をしている。

【警察】合図横断してもらえれば、必ず車は止まってくれる。運転者にポーズで明確に意思表示する、運転手の顔を見るように啓発活動をしている。

【委員】鷹峯街道入口の信号機のない横断歩道で、停車状況の調査をしたところ、きちんと止まってくれた。このようになればいいと思った。以前、私が運転をしていて横断歩道に差し掛かった際、まだ横断者から距離があると思って通過したところ、後ろから来た白バイに注意を受けた。それからは肝に銘じて、十分注意するようになった。

【委員】薬物に手を染める未成年者の報道をよく聞く。最近はスマートフォンのカバーを透明にして、中にステッカーを貼るのがはやっている。ネット上でもいろいろなステッカーがセットで安く販売されている。うちの子どももやっているがステッカーのセットの中には大麻草のデザインの物が必ず入っている。子ども達は色合いがいいことから知らず知らずに張っているが、親として見ると嫌な気がする。

【委員】私の家の前には横断歩道があり、歩行者はそこを渡っているが、自転車は横断歩道を渡らずに、広いところを横断している。自転車の横断方法はどうか。

【警察】車道を走っているときは車道、歩道を走ってきたときは歩行者の交通を妨げるおそれがない場合を除き、自転車に乗ったまま横断歩道を横断できる。交差点の4面に歩道があり、横断歩道があるときは、反対に渡っても歩道があるのでいいが、歩道がないのに渡ると横断後反対通行をすることになってしまう。信号機に「歩行者・自転車専用」

の表示があるときはその信号に従う。自転車横断帯があるときはそこを渡ってほしい。

【委員】主人の意見であるが、主人は防犯推進委員として夜間パトロールを実施している。パトロールの際に制服の警察官と一緒にいると安心できると言っていた。一緒にパトロールをしてもらえたら助かるので、お願いしたい。

【委員】知人に死亡事故を起こした人がおり、話を聞くと本当に大変であることがわかった。何があっても対処できるスピードで走行することが大事であると感じた。そのためには時間に余裕がないことが悪いと感じた。また、上賀茂橋を東へ渡り、下り坂道でスピードを上げて上賀茂神社前のロータリーに入ってくる自転車の学生がいる。本当にびっくりする。

【委員】きれいなミニ広報紙を作っていただきありがたいと思う。

私は平安レディースをしており、以前防犯の電話を付けないかと言われ、付けて何年か経つ。昨日はその電話を返してほしいという電話があった。返さなければならないものとは知らなかった。しかし、行政の方から、次の電話の紹介を受けて助かった。

【委員】次の4つの質問がある。①見事なミニ広報紙であるが、交番に対して共通の情報を流すことがあるのか。②見守り活動の時間帯が勤務交代の時間帯と重なるかと思うが、そのご苦勞はどのようにされているのか。③裸の横断歩道の一時停止の広報はされないのか。④学生に対する宗教的な勧誘などが問題となっているが、どのようになっているのか。

【警察】1つめのミニ広報紙のニュースソースは、4つのうち3つは共通紙面である。残り一つはそれぞれの交番単位での取組記事となっている。2つめの見守り活動であるが、交番勤務は24時間勤務であり、朝の見守りは非番で対応している。午前7時45分から午前8時に出動し、それぞれの責任分担に伴って活動をしている。見守り活動が終了すれば、それぞれが交番や本署に引き上げることになっている。

【警察】3つめの広報については、ポスターを作って張るなど、表だった施策はないと思う。「当たり前なこと」なので、あえて広報の必要がないということである。車両を利用する事業所に働き掛け、「はんなり事業所」に参加しないかというドライバーに対する施策や、合図横断をするという横断者に対する施策を並べて推進している。

【警察】オウム真理教のことや地下鉄サリン事件のことは、事件後数十年経過しているので、今の学生は知らない。アレフや光の輪は組織拡大を図って、アンケートやヨガ教室を通じて勧誘している状況がある。も

会 議  
内 容

しそのような兆候があればお知らせ願いたい。  
4 退任委員挨拶

以上

## 第4回京都府北警察署協議会の開催状況

